

1 園目標

身体をしっかり動かして、感性豊かに・元気で意欲のあるこども 自分の思いが素直に表現できるこども お友達と楽しく遊ぶことが好きなこども
--

2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	毎日の生活の中で、個々の成長に合わせながら生活習慣、あそびを大切にしてきた。季節を感じる散歩に出かけたり、室内では、リズムや肋木・斜面・トランポリン等設置しこどもの身体づくりが楽しくできるような取り組みをしてきた。食の体験ができるようにクッキング・皮むきなどのお手伝いや、給食室からの出前クッキングをしたり、野菜クイズなどに取り組んでいる。自分でできることも増え、生活にも意欲がもてるようになった。
職員	子どもに対する言葉かけについて、何度も繰り返し会議や個別に話していく機会を作り子どもたちにとって何が大事かを基本とし保育内容・行事の検討を行った。こどもの個々の発達を振り返り、専門職のアドバイスを取り入れながら関りを深めた。子どもたちにとってより良い環境づくりとなるように、同法人の職員交流や意見交換を行った。また、研修等を通して、知識を得ることが出来た。
保護者	園の様子を毎日の連絡帳やミニだよりで知ってもらい、子どもの成長を共に喜びあえる関係を築けるように意識して伝えた。子どもの成長を同じクラスの保護者で共有できるようにしていった（懇談会・紙面交流など）。保護者会の親睦会で交流を行い、横のつながりを大事にしていた。
園全体	保育では、気候変動から暑さ対策を意識し、子どもたちや職員が安全に過ごせるように心がけた。空調設備の室内機の入替をおこなった。子どもたちはもちろん、保護者が安心して預けられるように、ヒヤリハットや事故報告の共有を行い、安全に過ごせるように心がけた。

3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	子どもたちの発達・成長に必要な手立てを工夫しながら保育を組み立てていきます。また、子どもたちへの言葉かけについて振り返りや言いかえの確認を行いながら、接するようにします。子どもたちが生活・遊びの中で経験を積み重ね、より豊かな育ちができるようにしていきます。
職員	職員間で連携を取り、こども一人ひとりが、健やかに成長できるように保育の質の向上を目指します。職員も学習を意識して行い、資質向上を目指します。保育の振り返りを行い、検証を行えるようにしていきます。
	子どもの成長発達にとって大事なこと、大切にしたいことは何かをしっかりと見つ

園全体	めていきます。子ども同士の縦のつながりも大事にしていきます。施設の老朽化部分を確認し、安全な環境づくりをします。
保護者	保護者と共に子育て・保育を行っていきます。保護者会活動でつながりを大事にし、園との連携も取れるようにしていきます。保育内容をしっかり伝え、保育の理解が得られるようにしていきます。